

2015 年度生用 カリキュラム

		1セメ(春)	2セメ(秋)	3セメ(春)	4セメ(秋)	5セメ(春)	6セメ(秋)	
法律基本 科目群 (71 単位 必修)	公法系 (15 単位 必修)	憲法 I ④ (基本的人権)	憲法 II ② (憲法総論・統治機構論)		憲法演習② (判例事例演習)			
			憲法基礎演習①					
				行政法② (行政法総論・行政救済法)	行政法演習 I ② (判例演習)	行政法演習 II ② (事例演習)		
	民事系 (41 単位 必修)	民法 I ③ (民法総則・物権法)	民法 III ④ (債権総論・担保物権法)	民法演習 I ② (要件事実・事実認定の基礎)	民法演習 III ③ (債権総論・債権各論判例演習)	民法演習 IV ① (事例演習)	民法演習 V ① (事例演習)	
		民法 II ③ (契約法)	民法 IV ② (法定債権)	民法演習 II ③ (民法総則・物権法・担保 物権法 判例演習)				
				民法 V ① (家族法)				
		民法基礎演習 I ① (民法総則・物権法・契約法)	民法基礎演習 II ① (債権総論・担保物権法・法定債権)					
		民事訴訟の基礎①	民事訴訟法 I ② (第 1 審手続)	民事訴訟法 II ② (覆審訴訟・上訴再審・執行保全)	民事訴訟法演習 I ② (判例演習)			民事訴訟法演習 II ① (事例演習)
		商事法 I ④ (会社法)	商事法 II ① (商法総則・商行為・手形小切手法)	商事法演習 I ② (会社法判例事例演習)	商事法演習 II ① (会社法判例事例演習)			
	刑事系 (15 単位 必修)	刑法 I ③ (刑法総論)	刑法 II ③ (刑法各論)	刑法演習② (判例事例演習)				刑事法総合② (刑事法判例事例演習)
		刑事訴訟法③		刑事訴訟法演習② (判例事例演習)				
法律実務基礎科目群 (必修 3 科目 6 単位 を含む 5 科目 10 単 位以上選択)	法情報調査①		法情報調査①	民事模擬裁判①	法文書作成①	民事模擬裁判①		
	実務法学入門②		法文書作成①	刑事模擬裁判①	法曹倫理②	刑事模擬裁判①		
				要件事実・事実認定②	民事訴訟実務の基礎②	要件事実・事実認定②		
					刑事訴訟実務の基礎②	公法実務の基礎②		
				エクスターンシップ A ①		エクスターンシップ B ②		
基礎法学・ 隣接科目群 (必修 1 科目 2 単位を 含む 2 科目 4 単位以上 選択)	法と正義②	実務法曹と 情報ネットワーク②	法と正義②	実務法曹と 情報ネットワーク②	法の哲学と歴史②	実務法曹と 情報ネットワーク②		
	公共政策論②		公共政策論②	外国法の基礎②	公共政策論②	外国法の基礎②		
展開・先端科目群 (14 単位以上選択)	プログラム		3・5セメスター (春学期)		4・6セメスター (秋学期)			
	市民社会と法		労働法 II ②		生活者と法②	法と情報②		
			環境法 II ②		法と居住②	環境法 I ②		
					消費者法②	刑事法展開②		
					労働法 I ②	債権回収の実務②		
	国際社会と法		アジア世界と法②		国際社会における 平和と人権②	中国法②		
			国際法②		国際私法②	アメリカ法②		
	経済社会と法		ビジネス法務・国際法務②	租税法②	倒産法 I ②			
			知的財産法②	倒産法 II ②	経済法②			
	全プログラム共通	リサーチペーパー②						
特殊テーマ講座 A ①								
特殊テーマ講座 B ②								

※展開・先端科目群の担当セメスターは年度によって変更することがある。 ※科目名の後の○付き数字は単位数を表す。

○修了要件単位数 (標準 3 年コースの場合)

表中の必修の要件を満たした上、106 単位以上修得のこと。

○科目区分 濃い網掛けは必修科目、その他は選択科目。

○備考

- 1 本学の工学研究科が置く次の科目は、工学研究科との合意に基づき、本研究科の展開・先端科目群の一つとして扱う。  
履修年次は、いずれも 2・3 年次とする。「特別講義 知的財産 (2 単位)」、「特別研修 (2 単位)」
- 2 「エクスターンシップ A」と「エクスターンシップ B」を併せて履修することはできない。
- 3 「リサーチペーパー」の研究対象は、展開・先端科目群の枠を超えて、自由に設定できる。
- 4 「特殊テーマ講座」を、学生は最大 4 科目まで履修することができる。